

遠絡統合療法 基礎医学セミナー

2-b 基礎用語

1



2

「ライン」とは？

生体内のさまざま流れ
(血液・リンパ・髄液・神経伝達など)

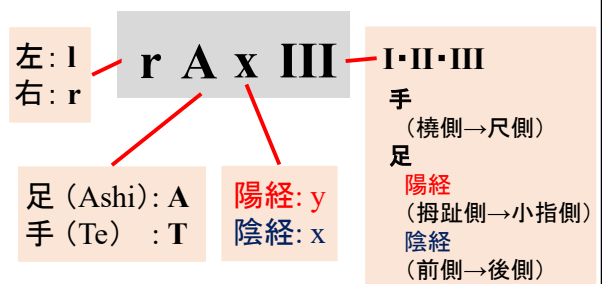
▶ ライフフロー

ライフフローが流れる道筋
(経絡の十二正経に準ずる)

▶ ライン

3

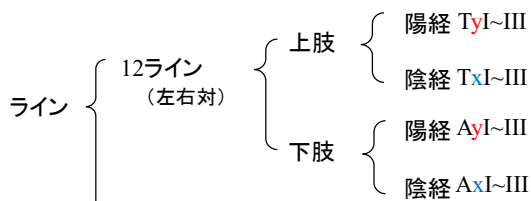
ラインの記号表記



◎片側手足で12本 左右で合計24本

4

ラインについて



※記号の意味 手=T 足=A 陽経=y 陰経=x

5

ライン一覧

| | 陽経ライン | 経脈名 | 陰経ライン | 経脈名 |
|-------|-------|-----|-------|-----|
| A (足) | AyI | 胃経 | AxI | 脾経 |
| | AyII | 胆経 | AxII | 肝経 |
| | AyIII | 膀胱経 | AxIII | 腎経 |
| T (手) | TyI | 大腸経 | TxI | 肺経 |
| | TyII | 三焦経 | TxII | 心包経 |
| | TyIII | 小腸経 | TxIII | 心経 |

6

ラインにおけるライフフローの向き

各ラインのライフフローは流れの向きが決まっている

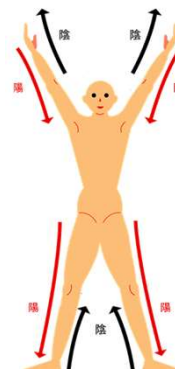
陽経は手から足の方へ
陰経は足から手の方向へ

7

ラインの向き

陽経 手→足

陰経 足→手



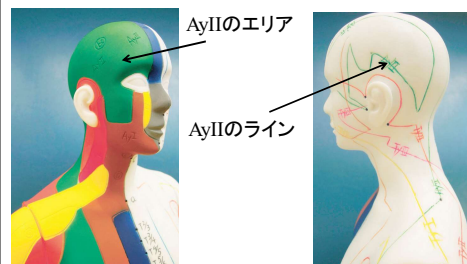
8

疼痛ラインと治療ライン

9

エリアとライン

身体各部にはそれぞれにエリアとラインがある



10

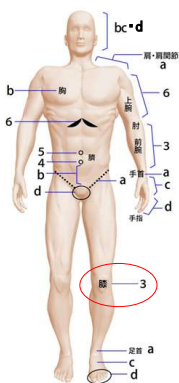
「レベル」とは

身体の各部位を数字とアルファベットで分類

12ラインが走行する上肢下肢の範囲には、身体の部位と対応する治療点を定めるレベルが設定されている。

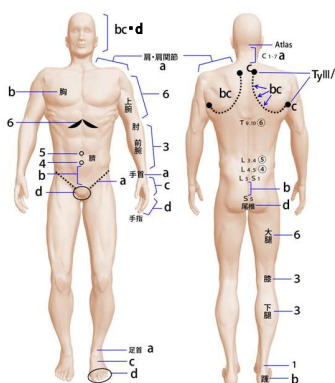
| | |
|-----|--------------------|
| レベル | 6 5 4 3 2 1 |
| | a b c d |

但し、「d」を除いた治療点(レベル)は四肢の各ライン上に設定してあるが、「d」だけはラインとは無関係に手指上に設定され、通常の同側対側の法則とは別の法則に従う。



11

レベルー覧図



12

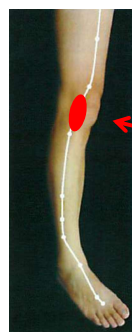
症状(疼痛)の局在を表すには？

- ① 患部を通るラインを「疼痛ライン」と呼ぶ。
- ② 身体各部は「レベル」で表す。
- ③ 疼痛ラインとレベルで「症状(疼痛)の局在」を表す。



13

例えば 右膝前外部の痛み



- ① 疼痛ラインは？ 陽経 rAyI
 - ② レベルは？ 膝のレベルは「3」
- 従って、「症状(疼痛)の局在」を **rAyI/3** と表すことが出来る
- ※ 「r AyI/ 3」を「処方式」と呼ぶ

14

治療ライン

15

治療ライン

「疼痛ライン」の流れを調整するために手技を加えるラインを **治療ライン** と呼ぶ。

16

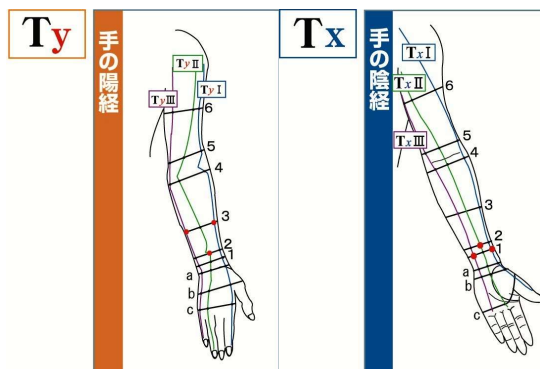
治療ラインとレベル

患部を表す「レベル」に対応する四肢の基準レベル (6~1, a,b,c,d)



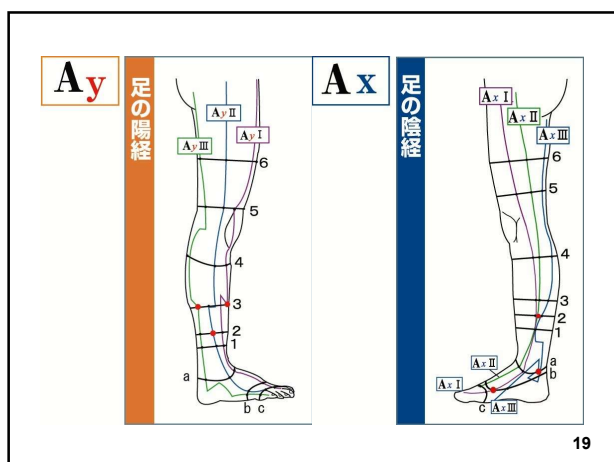
四肢の各レベルと治療ラインの交点を治療点として使う。

17



18

18



19

「point」とは

上肢・下肢の各ライン上には

6 5 4 3 2 1 a b c

+

d (手の指節部に配置)

合計10の「基準点」が設定されている

20

治療点の種類と役割

F-point (Function point)
患部に対応する治療点

C-point (Control point)
接経を行う2つのライン間を
関連付ける治療点
※各ラインに1点ずつある

21

C-pointについての補足

治療にはC-pointが
必要な場合と不要な場合がある

C-pointが必要な場合には、
C-pointを押圧したまま
F-pointに手技を加える

※C-pointは「絡穴」とも呼ばれている

22

各ラインの C-point 一覧

| ライン | C-point | ライン | C-point |
|-------|---------|-------|---------|
| TxI | 1 | TyI | 3 |
| TxII | 2 | TyII | 2 |
| TxIII | 1 | TyIII | 3 |
| AxI | b | AyI | 3 |
| AxII | 2 | AyII | 2 |
| AxIII | a | AyIII | 3 |
| Ni | 鳩尾 | To | 長強 |

23

C-point

ラインII (AyII AxII TyII TxII) ▶ **2**

ラインIとIIIの陽経 (AyI AyIII TyI TyIII) ▶ **3**

TxI・TxIII ▶ **1**

AxI ▶ **b** **AxIII** ▶ **a**

24

遠絡統合療法の診断から治療まで

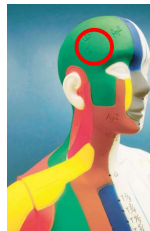
- ① 症状を訴える部位(エリア)を特定する
- ② 症状部位を通る **疼痛ライン** を判断する
- ③ 症状の質(痛み、しびれ)から病態を判断する
- ④ 治療目的に応じた **治療ライン** を選定する
- ⑤ 患部のレベルから四肢の治療点(レベル)を決める
F-point対応レベル一覧図、ENRAC人形参照
- ⑥ 治療目的に応じた手技を治療点に行う
深圧、瀉法、補法

25

ENRAC人形の活用

診断

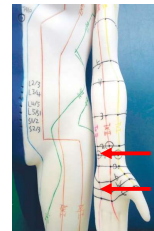
右半身 疼痛エリア



症状部位の
ラインとレベルを確認

治療

左半身 ラインの走行



治療点の位置を確認して
治療を行う

26

処方式と治療式

27

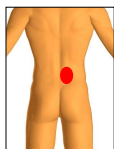
式の表記方法について

- 処方式** 障害部位をラインとレベルで表記した式
治療対象とする部位を表す
- 治療式** 処方式を実際の治療のやり方に翻訳した式(治療ラインの選択で変わる)
治療の手技を表す

28

遠絡統合療法の表記方法

処方式のルール



r **AyIII** / **4**

左右の表記 治療対象のライン
(疼痛ライン) 患部を表す
レベル

29

遠絡統合療法の表記方法

治療式のルール

治療ラインの C-point
(使用しない時は0)

1 **TxI** / **1:4**

左右の表記 治療に使用するライン
(治療ライン) F-point と手技の瀉補
瀉法: () 無
補法: () 有

30

【補足】処方式の例

例) rAyIII/4+b

障害部位「rAyIII/4+b」に対して治療を行う
病態に応じて接続・相輔・相克・補強・増流処置・牽引瀉法・季節処置を選択する

例) rAyIII//6/3!

rAyIIIに対して増流処置と牽引瀉法を行う
母父の「6」の瀉(増流)とF-point「3」で牽引瀉法を行うことを表す

31



接経

32

ライフフローを調整するには

遠絡統合療法は基本的に、
疼痛ラインではなく、他のラインを使って
治療を行う。



※ 疼痛ライン以外を使うほうが効果が高いことが
判っている

33

接経とは

ライン同士を関連づける7つの方法

1 接続

2 相輔

3 相克

4 補強

5 増流処置

6 牽引瀉法

7 季節処置

34

1 接続

ラインの流れを阻害する詰まりを取り除き、
他のラインとつなぐ

35

2 相輔

ラインの流れの幅と深さを広げる

36

3 相克

ラインの流れを阻害する
接続では取り除けない詰まりを砕く

37

4 補強

ラインの流れを補強する
川に例えると、
川岸が崩れないように強化する

38

5 増流処置

ラインの流量を増やす

39

6 牽引瀉法

ラインの流れに勢いをつける

40

7 季節処置

難治性の局所症状を
季節の関係を用いて治療する

41